

2024 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	宝塚市自治会ネットワーク会議 (R-Net)
活動テーマ	地域ごとに発生確率の高い災害の種類を学んで防災活動に取り組もう！



自治会を個別に訪問して活動状況をヒヤリング



西公民館で開催した防災セミナー



中央公民館で開催した防災セミナー



東公民館で開催した防災セミナーWS.

当会には、宝塚市内の 52 の自治会が所属していますが、熱心に防災活動に取り組むところから、全く活動のないところまで、さまざまです。そこで、自分たちが暮らすエリアの災害リスクに合致した備えを進めて、災害に無防備な地域を無くすことを目的に活動を始めました。2024 年度は、地形から分析した災害発生リスクのデータに基づいて、自分たちに起こる可能性の高い災害の種類をまとめたり、公助・共助の取組を進めるために、発災時の市の体制に関する Q&A をまとめたりして、所属自治会と共有しました。また、自治会の防災活動の現状を知るためにアンケート調査も実施しました。すでに活動をはじめていた自治会には、狙いが当たり、自治会内での防災活動に一段と弾みがついて、自分たちの住むところの地形から起こる災害についての勉強会を開催すると報告をうけました。ただ、全く活動に関心のない自治会をどうやって動かすのか、今後の課題として残りました。その他、自分たちの安否確認と被害状況の把握を目的とした改良版被害状況報告システム (HJS) を導入しました。システムの説明会を開催して登録者数を増やし、配信訓練、情報伝達訓練、システム活用訓練を実施しました。災害発生時、徒歩で状況を確認できる人達が、いち早くシステムに被害状況を登録することで、地域ごとの被害の度合いを把握することができます。同時に、行政へ被害をまとめて報告し、速やかに復旧を求めることができる体制の構築をめざしました。このシステムを活用した行政との協働の取組は、当会の防災の取り組みの特色の一つと言えます。今後は、当会も行政も当事者がかわっても、システムが機能するよう、災害時の行動計画を策定したいと考えています。このような取組の積み重ねで、災害に無防備な地域が無くなることを願いながらこれからも活動して参ります。